

# 磐城時報

福島縣石城郡平町掛屋町十四  
印刷所 加藤印刷所  
印刷部 加藤印刷所  
電話 一四三三  
代官 一四三三  
日刊 (日曜 祭日) 休刊

## 山崎與三郎氏辭退 結局金成通氏推薦か

### けふ平町大村屋で 多額議員候補者推薦の協議

石城郡政友部會では二十七日午前十時から平町大村屋旅館で来る九月行はれる貴族院議員の候補者推薦に關し協議會を開いたが、有権者諸橋久太郎、山崎與三郎、江尻博孝、赤津庄兵衛、草野正壽、加藤丈夫、各氏の外代議士鈴木辰三郎、木村清治、古川傳一、山崎吉平、等各自出席協議の結果山崎與三郎氏を候補者に推薦したが山崎氏は固辭して受けぬので家族の意を質す事となり山崎清三氏に來會を乞ひ意見を聴く事になつたが、同意せぬもの、如く察せられてゐる。結局錦村金成通氏を推薦するに至る模様である。

### 磐城製藥會社 創立運動

縣では農村救済の一助として縣藥業協會をして製藥事業を起すことを目論んでゐたが、これに對しては既報の如く大和賣藥同業組合から猛烈なる反對の陳情があり成行を注視されてゐる折柄今度は縣下預通りを自當に資本金十萬圓の磐城製藥株式會社の創立運動が始められた。起發人は平町伊藤一氏その他着々具體化しつゝある模様である。預通りは富山賣藥の金城湯池であらうと見られてゐるだけに實現すれば富山賣藥に對しては影響甚大であり富山市の如く政府から拂下げをうけた價格は運賃を含み市價の三割安で何れも大喜びである。

### 警察部長 石城郡巡視

渡警察部長は濱通り初巡視のため八月四日午前九時四倉驛發植田町に至り植田署を視察し午後一時植田町發小名濱、江名、豊間各町村を視察し午後四時平町到着、住吉屋本店に一泊し五日午前八時平警察署その他を視察し午後二時平驛發小野新町に向ふ豫定である。

### 四倉消防組で 浴場荒しを警戒

四倉濱は海水浴の最盛期に入り毎日數千名の人出で雑踏を極めてゐるが、同時に同海岸に各方面の學生が入り込みキャンパス生活を営む者が多いが、之に乗じ浴場荒しが毎日跋扈し被害頻々となるので四倉消防組では幹部會で協議の結果毎日十數名宛出動し警戒に従事する事になつた。

### 會場變更

諸橋久太郎氏を會長とするさされ會は本日平町住吉屋本店に於て會合する筈なりしも都合に依り會場を谷口樓に変更した。

### 主人の虐待に堪え兼ね 大工徒弟鮫川に投身

二十五歳になつて飯たき

### 産業組合石城部會で 政府拂下米斡旋

市價の三割安値で  
千四百四十俵購入

### 水泳中 てんかんを起す

石城郡夏井村大字荒田目農業者二男新妻芳夫(十四)は二十六日午後二時頃同村六十枚地内夏井川で水泳中癲癇を起し溺死した。

### 天満宮祭典の 万燈模様入選者

平町紺屋町では毎年天満宮祭典に際し点燈する萬燈の模様を平町三小學校児童から懸賞で募集してゐるが、二十七日執行される祭典に際し懸賞五千の中から審査の結果左の如く入選した。

### 平町の女給 小名濱に納涼

八月五日平町各カフエーの女給打撃である。

### 鶏の投資

平町に於ける現在の養鶏業者は計百八十七人、飼育鶏數一萬一千六百八十羽であるが、昨年の如きは卵價の低落から産卵數六萬九千五百個の賣上金僅かに千三百九十圓といふ心細い状態であるので最近では割に合はないので鶏の投資りを始めた結果平町では鳥肉白身三十錢と云ふ安値で賣買されてゐる始末なので獸肉商大

### 村琴子

▲尋五 太田品子 木村豊子  
▲五ノ一 鈴木清子 鯨崎富子  
(以上平第二小學校)  
▲尋五ノ一 酒井久邦 坂本行藏  
▲會田五郎 新妻常雄 宗像利一 石和田由一 安齋憲二郎 阿相源二郎 安齋幸雄 柴田讓 小川一計 富田正一郎  
▲尋五ノ三 關原定之 小野操 山家博孝 田中正士 袖山勝治 佐川清  
▲尋六ノ一 志賀純一 池田志知郎 高倉三郎 會田長太郎  
▲尋六ノ一 志賀正義 中野義廣  
▲尋六ノ二 塚本慶治 酒井英安 岩崎久治郎 佐々木良夫 吉田治三郎 根本忠雄  
▲尋六ノ二 山崎道雄 小林正久 片寄博 小松公平 本庄幸夫  
(以上平第一小學校)

### けふ土用の丑の日 石城各濱の賑はひ

連日の酷暑から逃れて  
涼を追ふ人々

### 署長歓迎會

福島縣自動車協會四倉支部の臨時總會は二十六日午後七時より同町柏屋旅館に於て開催し終つて新任署長根本賢治氏の歓迎會を行つた。

### 四倉自動車

▲勿來町三車 ▲小名濱町二車 ▲平窪村一車 ▲大浦村一車 ▲内郷村二車 合計九車、千四百四十俵

### 薬草採取會

郷土の藥草研究者として知られてゐる中町四丁目佐川治郎氏は廿七日土用の丑の日を機に藥草採取會を開催、藥草採取實地指導を行ふ事となり廿六、廿七日自ら本町通で街頭宣傳を行つた。當日の採取會要項は左の如し。

### 平町新川町大工職藤田平治郎方さん百二十名は小名濱海水浴場

雇入石城郡上遠野村生れ富田繁に一日の清遊をなすが、當日は(二五)は主人平治郎夫婦の虐殺事件の噂が横溢する待に堪え兼ね二十五日夜主家をたらうと今から噂が高い。

### 平町新川町大工職藤田平治郎方さん百二十名は小名濱海水浴場

雇入石城郡上遠野村生れ富田繁に一日の清遊をなすが、當日は(二五)は主人平治郎夫婦の虐殺事件の噂が横溢する待に堪え兼ね二十五日夜主家をたらうと今から噂が高い。

### 署長歓迎會

福島縣自動車協會四倉支部の臨時總會は二十六日午後七時より同町柏屋旅館に於て開催し終つて新任署長根本賢治氏の歓迎會を行つた。

### 四倉自動車

▲勿來町三車 ▲小名濱町二車 ▲平窪村一車 ▲大浦村一車 ▲内郷村二車 合計九車、千四百四十俵

### 天満宮祭典の 万燈模様入選者

平町紺屋町では毎年天満宮祭典に際し点燈する萬燈の模様を平町三小學校児童から懸賞で募集してゐるが、二十七日執行される祭典に際し懸賞五千の中から審査の結果左の如く入選した。

### 平町の女給 小名濱に納涼

八月五日平町各カフエーの女給打撃である。

### 鶏の投資

平町に於ける現在の養鶏業者は計百八十七人、飼育鶏數一萬一千六百八十羽であるが、昨年の如きは卵價の低落から産卵數六萬九千五百個の賣上金僅かに千三百九十圓といふ心細い状態であるので最近では割に合はないので鶏の投資りを始めた結果平町では鳥肉白身三十錢と云ふ安値で賣買されてゐる始末なので獸肉商大

### 村琴子

▲尋五 太田品子 木村豊子  
▲五ノ一 鈴木清子 鯨崎富子  
(以上平第二小學校)  
▲尋五ノ一 酒井久邦 坂本行藏  
▲會田五郎 新妻常雄 宗像利一 石和田由一 安齋憲二郎 阿相源二郎 安齋幸雄 柴田讓 小川一計 富田正一郎  
▲尋五ノ三 關原定之 小野操 山家博孝 田中正士 袖山勝治 佐川清  
▲尋六ノ一 志賀純一 池田志知郎 高倉三郎 會田長太郎  
▲尋六ノ一 志賀正義 中野義廣  
▲尋六ノ二 塚本慶治 酒井英安 岩崎久治郎 佐々木良夫 吉田治三郎 根本忠雄  
▲尋六ノ二 山崎道雄 小林正久 片寄博 小松公平 本庄幸夫  
(以上平第一小學校)

### 石鹼商人 投身自殺

二十三日午前七時頃石城郡赤井村大字三島字上川原内夏井川に年齢五十歳前後の者が水泡に包まれて浮沈みしてゐるのを同村田久豊秋(五八)が発見し驚いて救ひ上げたところ、右は同郡永戸村下永井石鹼行高田梨番太郎(五八)で生活苦のため思ひ餘つて投身自殺を計つたもので身体を包んでた泡は所持の石鹼が溶け出した結果と判明したが生命は取止めるらしい。

**腸胃**

内科 専門 村松

十二指 虫腸病 腸病 胃性 腸病

婦人病 淋病 皮膚病

専門 院 醫 科

(七〇一話電) 町南町平

**久**

釜屋商店

**平町人事**

出生  
田町四五東京府豊多摩郡野方町上沼袋五五九小川勇夫二女美緒子  
死亡  
五丁目二平松武(五九)

**御中元 福袋**

景品付大賣出し

(但し八月二十日限り)

由良 一升瓶詰 一・一〇 (空瓶十銭引取)

乃助 一升瓶詰 一・一〇 (空瓶十銭引取)

ニリツトル瓶詰 六〇 (空瓶八銭引取)

各一本御買上毎ニ福袋一ヶ呈上

**福袋の内容**

ガーゼハンカチーフ、洗濯石鹼、白エプロン、汁椀ニヶ入一箇、大バケツ、アルミニウム共蓋鍋

一袋毎ニ一ヶ乃至ニヶ在中

**酒の味**

永山酒店

平町田町 電話二〇七番  
支店 小名濱上町 電話一四〇番

**平町の三井呉服店**

四倉へ出張大賣出し

七月二十七日ヨリ二十九日迄三日間

**特価品**

中形 五十銭より  
手拭中形 三十八銭より  
白綿 三十五銭より  
晒木綿 二十八銭より  
正紺木綿 六十五銭より

◎洋傘 日傘……大安賣

**吉田眼科病院**

平町紺屋町 電話六八番

**氷の御用は**

電話四六七番へ

勿來製氷會社一手販賣

平二丁目 警察署通り 魚清氷卸部

支店 江名濱築港内 電話六十九番

**氷水 始めました**

例年の通り

多少に拘らず御用命御引立の程願上ます。

**特製**

アイスクリーム(山盛) 金十銭  
あづきアイス(同) 金五銭  
ミルクセーキ(同) 金十五銭  
ソーダ水 金十銭

其他氷水各種 出前迅速

平町一丁目 藤寅

電話……一四一番

**初夏…サロンの新装**

店内清楚にして氣持良く

アイスクリーム 十五銭  
タンク入りソーダ水 十五銭

ドーゾ御用命を……

田町 サロン

電話……三五二番

(男給見習數名募集)

<p>四倉銀行</p> <p>頭取 吉田保之助</p>	<p>四倉信用組合</p>	<p>四倉電力株式會社</p> <p>四倉 變電所</p> <p>電話 六番</p>	<p>四倉 變電所</p> <p>電話 六番</p>
<p>四倉鐵工所</p> <p>西山惠一</p> <p>四倉 驛前</p>	<p>四倉新町</p> <p>松本菓子店</p> <p>電話 七番</p>	<p>味噌醬油醸造元</p> <p>鱗屋台名會社</p> <p>電話(四倉)一〇八</p>	<p>味噌醬油醸造元</p> <p>佐藤仲商店</p> <p>電話(四倉)四十一番</p>
<p>大日本麥酒株式會社特約店</p> <p>面川商店</p> <p>電話 十一番</p>	<p>四倉新町</p> <p>美好堂菓子店</p> <p>電話 四一</p>	<p>四倉新町</p> <p>水野屋菓子店</p> <p>電話 七番</p>	<p>四倉新町</p> <p>佐藤寫眞館</p> <p>電話 百三十番</p>

**暑中御伺ひ**

(其一)

四倉町長 新妻盛

四倉町助役 菅波千之助

**坂本漁業事務所**

四倉町新町海岸通り

**四倉漁業組合事務所**

四倉町新町

**金成岩吉**

四倉消防組頭